

イヌ乳腺腫瘍細胞

(Canine Breast Tumor Cell, Code No. AZACB)

2018 年 10 月 17 日改訂

※本品は、研究目的にのみご使用ください。

本細胞はイヌ乳腺腫瘍組織から樹立された株化細胞です。
本製品は、麻布大学 臨床検査技術学科 病理学研究室 荻原喜久美先生が樹立され麻布大学よりライセンスをうけた細胞株になります。

《I-1. 製品構成》

| 細胞名 | 容 量 | 本 数 | 保存方法 |
|----------|---------------------------------|-----|------|
| イヌ乳腺腫瘍細胞 | >5×10 ⁵ cells／凍結バイアル | 1 本 | 液体窒素 |

《I-2. 推奨培地》

| 品 名 | 製品コード | 容 量 |
|---------------|---------|-------|
| 腫瘍細胞株用メディウム 1 | AZAGM01 | 250mL |

培地組成：Minimum Essential Medium、10%FBS、0.295% トリプトース・フォスフェイト・ブコース

《II-1. 細胞培養方法》

培養開始する前に予め培養用メディウムをご用意ください。腫瘍細胞株用メディウム 1（Cat No. AZAGM01）をお勧めします。培地は予め解凍して冷蔵保管してください。
培養容器はコラーゲン I・コートした方が接着は良くなります。

- 凍結細胞を 1 本取り、37℃温浴にてすばやく解凍してください。
- ※本キットの細胞はドライアイス梱包で発送しています。受領した細胞は直ちに培養を開始してください。
長期保存する場合は、液体窒素中で保存してください。
- ↓
- 解凍した細胞液は、培養用メディウム・10ml を含む 15ml 遠心管へ添加し混合した後、4℃、200 × g で 5 分間遠心してください。
- ↓
- 上清を除去し、培養用メディウム・10ml で懸濁後、4℃、200×g で 5 分間遠心してください。
- ↓
- 上清を除去し、培養用メディウムを加えて細胞浮遊液を調製し、25cm² フラスコ 1～2 枚に播種し、5%CO₂ 存在下の 37℃インキュベータで培養してください。
- ↓
- 翌日、培地交換してください。以降、2 日に 1 回以上の頻度で培地を交換してください。
- ↓
- 80%コンフルエントに達したら（播種後 2～4 日目）継代してください。コンフルエントに達した後はトリプシンが効きにくくなりますのでご注意ください。

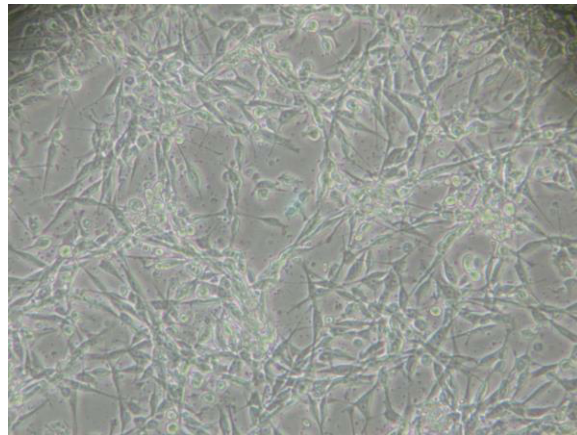
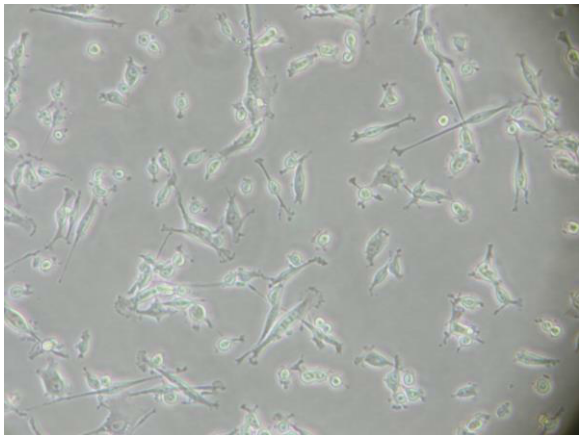


図. 細胞写真

《Ⅱ-2. 継代方法》

[準備していただくもの]

- ・ 滅菌済み PBS(-) : Ca、Mg を含まない生理的リン酸緩衝液、予め室温に戻しておく。
- ・ トリプシン溶液 : 0.05%トリプシン/0.02%EDTA を含む PBS(-)
- ・ 培地
- ・ 実験に使用する培養容器 (コラーゲン I コートした方が接着が良い)

[継代方法 (25cm² フラスコの場合)]

フラスコ内の培地を吸引除去して、室温に戻した滅菌済み PBS(-)5ml で 2 回洗浄してください。



洗浄に用いた PBS(-)を吸引除去してください。



室温に戻したトリプシン溶液 3ml を加えてフラスコ底面全体に行き渡らせ、直ちに余分なトリプシン溶液を吸引除去してください。コラーゲン・コートしていない培養容器を使用している場合には、細胞剥離が早いのでご注意ください。細胞が丸くなったのを位相差顕微鏡で確認後、軽く手のひらでフラスコをたたき、細胞がフラスコからはがれて流動する様子が観察されるまでトリプシン処理を行ってください。

※ 細胞が剥がれにくいときは、37℃インキュベータに数分～10 分間入れて加温してください。

※ 長時間 (15 分以上) のトリプシン処理は、細胞の状態が悪化することがあるので避けてください。



細胞が剥がれたのを確認後、培養用メディウムで細胞を回収し、200 × g で 5 分間遠心して上清を吸引除去してください。



培養用メディウムを加えて細胞懸濁液を調製し、必要に応じて細胞数をカウントしてください。



培養用メディウムで適宜希釈して、 $1.0 \sim 2.0 \times 10^4$ cells/cm² の細胞密度で播種してください。もしくは元の培養面積の 2～3 倍の面積に細胞を播種してください。翌日培地交換し、以降 2 日に 1 回以上の頻度で培地を交換してください。

《Ⅲ. 参考資料》

- (1) 日本獣医学会学術集会講演要旨集 Vol.128, p.212, 1999 年
「イヌ乳腺腫瘍由来細胞株の樹立とホルモンレセプターの検討」

《IV. 動物由来腫瘍細胞株シリーズ》

| 品 名 | 製品コード | 容 量 |
|--------------|---------|-----------------------------------|
| ブタ腎芽腫細胞 | AZASN | 凍結細胞 (>5.0×10 ⁵ cells) |
| イヌ線維肉腫細胞 | AZACF | 凍結細胞 (>5.0×10 ⁵ cells) |
| イヌ肝癌細胞 | AZACH | 凍結細胞 (>5.0×10 ⁵ cells) |
| イヌ尿路上皮癌細胞 | AZACU | 凍結細胞 (>5.0×10 ⁵ cells) |
| イヌ肺癌細胞 | AZACL1 | 凍結細胞 (>5.0×10 ⁵ cells) |
| イヌ肺癌細胞 | AZACL2 | 凍結細胞 (>5.0×10 ⁵ cells) |
| イヌ乳腺腫瘍細胞 | AZACB | 凍結細胞 (>5.0×10 ⁵ cells) |
| ラット肝癌細胞 | AZARH | 凍結細胞 (>5.0×10 ⁵ cells) |
| ラット腎芽腫細胞 | AZARN | 凍結細胞 (>5.0×10 ⁵ cells) |
| 腫瘍細胞株用メディウム1 | AZAGM01 | 250 mL |

《本製品をご利用になられた文献、発表データ》

本製品をご利用いただき投稿された論文、学会発表パネルなどを送付いただきましたお客様に粗品を進呈させていただきます。ご提供いただきました論文などは、WEB やカタログ、技術資料を通じて多くの研究者の方への技術情報として利用させていただく場合がございます。是非皆様のご協力をお願いいたします。

送付先：〒047-0261 北海道小樽市銭函 3 丁目 513 番 2
 コスモ・バイオ株式会社 札幌事業部 あて郵送
 または primarycell@cosmobio.co.jp あて PDF ファイル送信



コスモ・バイオ株式会社
 COSMO BIO CO., LTD.

〒135-0016 東京都江東区東陽 2-2-20 東陽駅前ビル
 URL : <http://www.cosmobio.co.jp/>

● 営業部（お問い合わせ）
 TEL : (03) 5632-9610 FAX : (03) 5632-9619
 TEL : (03) 5632-9620

● 札幌事業部（技術的なお問い合わせ）
 TEL : (0134) 61-2301 FAX : (0134) 61-2295
 E-mail : primarycell@cosmobio.co.jp
 URL : <http://www.primarycell.com/>